

# NEWS RELEASE

No. 17-02

2017年5月22日

(公財)損害保険事業総合研究所

## 5月25日発刊「損害保険研究」第79巻第1号のご案内

損保総研では、機関誌「損害保険研究」第79巻1号を5月25日に発刊します（発刊は5月、8月、11月および2月の年4回です）。

本誌は、研究者と実務家による損害保険ならびにその関連分野に関する研究・調査の発表を通じて、研究者・実務家双方にとり有益かつタイムリーな情報を提供することにより、損害保険に係わる学術振興ならびに損害保険事業の発展に寄与することを目指しています。

### ★79巻1号の概要

今号には、保険会社間の相互関連リスク分析を含む研究、完全自動運転実現に伴う法体系の改正に関する考察等、先進性、独自性の高い論文3編、研究ノート3編を掲載しました。研究者、実務家双方にとり極めて有益と考えますので、是非ご購入いただきますようお願い申し上げます。

#### 【研究論文】

##### 1. フランス民事責任法改革と交通事故法改正

愛知学院大学法学部教授 山野 嘉朗 氏

\* 現在検討作業が続いているフランス民事責任法の改正草案に関し、交通事故法との差異を明らかにした後、強行規定性、責任原則、適用範囲、免責事由、特権的被害者類型、過失相殺の廃止等について体系的分析を行うとともに、残された問題についても言及している。

##### 2. 損害再保険ネットワークを介した保険会社間の相互関連性のリスク分析

日本大学商学部教授 菅野 正泰 氏

\* 損害保険市場におけるシステミック・リスクを、損害再保険取引データを利用したネットワーク分析に基づいて研究を行っている。保険市場におけるシステミック・リスクの分析・研究のうち、ネットワーク理論に基づくものはこれまでほぼ皆無であり、新規性・独自性に富んだものとなっている。

##### 3. イギリス海上保険法上の因果関係の問題点再考

###### － 近因原則の展開と方向性をめぐって －

中央大学商学部教授 平澤 敦 氏

\* イギリス海上保険法における因果関係論を再整理し、新たな裁判例に対し考察を加えるとともに、約款上の表現、因果関係の判断に適用される Common sense につき、詳細な検討を行っている。

## 【研究ノート】

### 4. 自動運転を巡る産業界の動向と今後の社会のあり方

大分大学名誉教授, 尚絅大学名誉教授, 東北工業大学客員研究員 大羽 宏一 氏

- \* 完全自動運転車の市街地走行が実現した場合、現行の法体系はどのように変わるべきか。自動車の歴史的役割や社会構造の変化を辿りながら、研究者独自の視点で改正案を示すとともに、わが国における被害者救済制度の導入を提言している。

### 5. 逸失利益の中間利息控除と債権法改正

大井・佐野法律事務所弁護士 大井 暁 氏

- \* 今国会で成立する見込みである「民法(債権法)改正案」は、施行後の前後で逸失利益や男女間格差に与える影響が懸念されている。本稿では、現行算定方法の問題点を再検討し、「表計算方式」ないし「個別割引方式」の再評価が必要とし、中間利息控除の基準時についても言及している。

### 6. (超低速度衝突) むち打ち損傷受傷疑義事案に対する一考察

#### — 工学的知見に対する再評価として —

株式会社保安企画 取締役リサーチ事業部長 日野 一成 氏

- \* 超低速度衝突で発生したむち打ち損傷事案に対する先行研究、報告等を再整理し、受傷の真偽が疑われるケースにおける工学的知見の再評価を展開している。

## 【判例報告および研究所事業紹介】

「損害保険判例研究会」判例報告

「降車時の受傷における搭乗者傷害保険金支払義務」

上智大学法学部教授 伊藤 雄司 氏

「弁護士費用特約における保険者の同意条項の有効性と保険者の裁量の範囲」

東京大学大学院法学政治学研究科准教授 後藤 元 氏

「2017年度損害保険研究費助成 募集開始のお知らせ」

「損保総研レポート第118号」概要

### 本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 損害保険事業総合研究所

編集室 三木博生 TEL 03-3255-5513

### 『損害保険研究』 お申込み先

<http://www.sonposoken.or.jp/portal/publications/magazine.html>